

光が丘だより

令和4年12月1日 NO.200



この一年を振り返ると

施設長 野沢 修一

今年も残すところあと一か月となりました。この一年を改めて振り返ってみると、やはり新型コロナウイルスの対応に追われた一年のように感じます。特に1月下旬から2月にかけて、学園内において初めて新型コロナウイルスの感染者が発生した際には、職員への感染拡大もあり、日々の職員確保や園内の衛生管理の徹底に悪戦苦闘した記憶が昨日のこのように思い出されます。その一方で、4月以降はこの2年間中止していたキャンプや海水浴を再開したほか、地元の秋祭りなどのイベントに出かけるなど、徐々にコロナ禍以前の学園の活動を取り戻すことができた一年でもあったように思います。

現在も決して北海道内の感染状況は落ち着いているとは言えませんが、社会的には、様々な活動を止めることなく新型コロナウイルスに対応していく状況もあります。学園としても基本的には感染対策を取りながら、子ども達の活動を継続していきたいと考えています。間もなく年末年始を迎える中、今年子ども達の一時帰省を実施する予定です。子ども達は保護者との交流を楽しみにしていますので、保護者の皆様におかれましては、くれぐれも体調管理に気を付けて頂きながら、交流の日を迎えていただければ幸いです。終わりになりますが、今年一年、皆様からの学園の子ども達に対します様々なご支援に感謝申し上げます。

先日、北海道における子どもの社会的養護を考える会主催の「里親制度」をテーマにした映画上映会に行ってきました。あらすじ：長年の不妊治療の末、子どもを授かることができず、里親制度を利用して1歳の弥生という女の子を迎え入れた小川家。里親である美奈子と雄介はイヤイヤ期の子育てもたくさんの思い出作りをすることで乗り越える事も出来た。弥生は幼稚園に入ってお友達もでき、社会性が培われてきた頃、お友達のママのおなかに赤ちゃんがいることを知り、自分の赤ちゃんの頃の写真が無いことを尋ねる。美奈子と雄介は弥生が里子であることを伝える決心をし、生みの親の存在を知らせた。生みの親洋子の存在を知った弥生は、...？

弥生、美奈子、洋子、それぞれが抱える想いとは、...？

感想：里母美奈子は先輩里親のママ友がいて、真実告知のタイミングについても相談できていて、動物園で動物の親子をきっかけにしたこと等情報交換していました。また、弥生が実母に会いたいという希望を持った時に里父母は本人の意思を尊重し、児童相談所相談して再会の機会を持つことが出来ました。里父母愛情深い本人に寄り添った子育てを通して、弥生の心が成長しているのが画面から伝わってきました。この映画を通して改めて「子育ては心育て」だと学ぶ機会になりました。

里親支援専門相談員・未委託里親等トレーニング事業補助員

初氷も張りました。初雪も降りました。地球温暖化が進んではいても、やはりこの時期の北海道は空気も凛として寒いです。そして、気が付くと令和4年も残すところあと僅かとなりました。もう少しすると「しばれるね〜。」が挨拶がわりになりそうです。

11月は4カ所の親子ひろば(あかしや、日の出、中央、ほろむい)を訪問させていただき、参加されたお母さんや主任児童委員の皆さんと交流機会を持てました。12月も3カ所(いなほ、ほくしん、くりさわ)を予定しています。どんな出会いが待っているのか楽しみです。

新型コロナ等の影響により親子ひろばも日程の組み直しをしましたが、当所の予定を1カ月先送りした『令和4年度 空知ヤングケアラー研修会』を12月13日(火)によりやく開催できる運びとなりました。「ヤングケアラーって何だろう ~つなぐ、むすぶ、つながる~」というテーマのもと、2名の講師をお招きして、空知管内24自治体の窓口担当者、そして、岩見沢市内にある小中高校全27校の教員を対象にして開催します。新型コロナウイルス感染予防の観点から、今回は各自自治体・各学校いずれも「参加者は1名に限定」しての開催となりますが、そうであっても「ソーシャルディスタンス、消毒、マスク着用」等、細心の注意を払いながら進めていきたいと思っています。

3カ年計画の1年目にあたる今年は、春先から実質的に動き始めた「ヤングケアラーを知ってもらうこと(理解と周知)」が目的になるかと思えます。まずはここから、そして、「次へ」です。

予定は未定を絵に描いたような1年でしたが、「来年は更に」の意気込みで歩みを進めたいと思っています。この1年、大変お世話になりました。やってくる年が皆様にとって「より良い年」となりますように。

光が丘子ども家庭支援センター

新高等学校祭

11月12日に高等養護学校の学校祭があり観覧してきました。1年生は劇。Kさんはナレーターとして大きな声で上手にお話していました。2年生も劇。Yさんは大きな声で恥ずかしがらずに役になりきり演じていました。3年生は旗やゴース・リボンを使った演技や歌を歌いました。Rくんは旗を持ち走ったり、ダンスをしたり上手に行っていました。

3人とも普段見せる顔とは違い、真剣な眼差しで一生懸命に取り組む姿に成長を感じ、素敵な発表に感動しました。

—女子グループ—



お誕生日おめでとう

Rちゃんお誕生会

11月はRさんの誕生日。半年以上前からこの日が来るのを心待ちにしていました。皆でクラッカーを鳴らしてRさんを出迎えれば、あまりの驚き少し涙をためて固まっていたが、やがて「Rもやりたい！」と。誕生日プレゼントをMさんに手渡されると、お菓子やフルーツもそっこのけで、嬉しそうに封を開けていました。そのあとは皆で風船割りのゲームをしたりしながらお祝いをしました。



—幼児グループ—

あそびプロジェクト



シーズン恒例の教育大学で行なっている遊びプロジェクトに幼児さんと小学生・中学生の大半の男の子が参加しています。人の多さに圧倒されながらも、色んな種類の車いすや沢山の形のボール、大きなバルーンを体育館の中で飛ばしたり、空気を入れたバルーンボールの中に入って押し合いっこをしたりと沢山の時間、体を動かして過ごしています。別のブースではプロバスケの選手が試合をしていたり、その後には15秒以内に5本決めたらTシャツが貰えるフリースローチャレンジに数名の子が参加しています。惜しくもTシャツGETとはいきませんでした。練習で調子が良くても本番となると緊張で上手いかなかった」と素直に心境を話していました。別のブースではVR体験を行ない、ジャンプすると空高く舞い上がったり、細い鉄骨を渡るドキドキハラハラが楽しかったことを語ってくれています。

単純に遊びを経験する事に加え、学園から出た地域の活動にする事で知らない人に挨拶やお礼、時には謝る場面もあり、このような体験を通して社会性も養われていくのだと感じました。

—男子グループ—

教育大学で開催されている遊びプロジェクトに、幼児さんたちも遊びに行ってきました。車いすやエアボールなど、普段では遊ばない遊びが繰り広げられており、はじめはどう遊んでよいものか、静かに見定めていた子どもたちでしたが、スタッフのお兄さんお姉さんに促されながら、一度遊んでみれば楽しくて、目いっぱい体を動かしていました。帰り際には外のコーナーで、焚火を囲みながら焼きマッシュマロをもらって食べました。

—幼児グループ—



外食行事

先日、光が丘の全体行事として外食に行ってきました。食べたいメニューに合わせて6グループに分かれて出かけ、美味しかった〜と大満足でした。



12月の行事予定	
22日	光陵中終業式
6日	南小参観日4・6年生
7日	南小参観日1・3年生
8日	南小参観日2・5年生
12日~14日	駒沢幼稚園参観日
21日	岩農体育大会
23日	幼稚園・南小・岩農・新篠津高等養護学校 終業式
24日	クリスマス会
26日	餅つき
27・28日	大掃除

ご厚志ご寄贈など感謝申し上げます(11月1日~30日)
(ご芳名もれをお許しください)

光明寺様、コンパル岩見沢店様、河内克彰様、中嶋 仁様、岩崎俊博様、小野寺栄美子様、小島孝世様、清水滋子様、清水正明様